

市町村名	与那国町
------	------

平成24年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5 -	子育て支援事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 2 - (2) - ア
担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施（予定）年度	平成24年度	子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり
			沖縄振興基本方針該当箇所	- 4 - (1)

事業内容
 本事業は、働きながら子供を育てることができる環境の充実、及び幼保一体化教育を実施する。具体的には、老朽化した祖納及び久部島の保育所を新たな幼保一体化教育施設として整備し、子育て支援の充実を図り、保護者が安心して働ける環境を整備した。

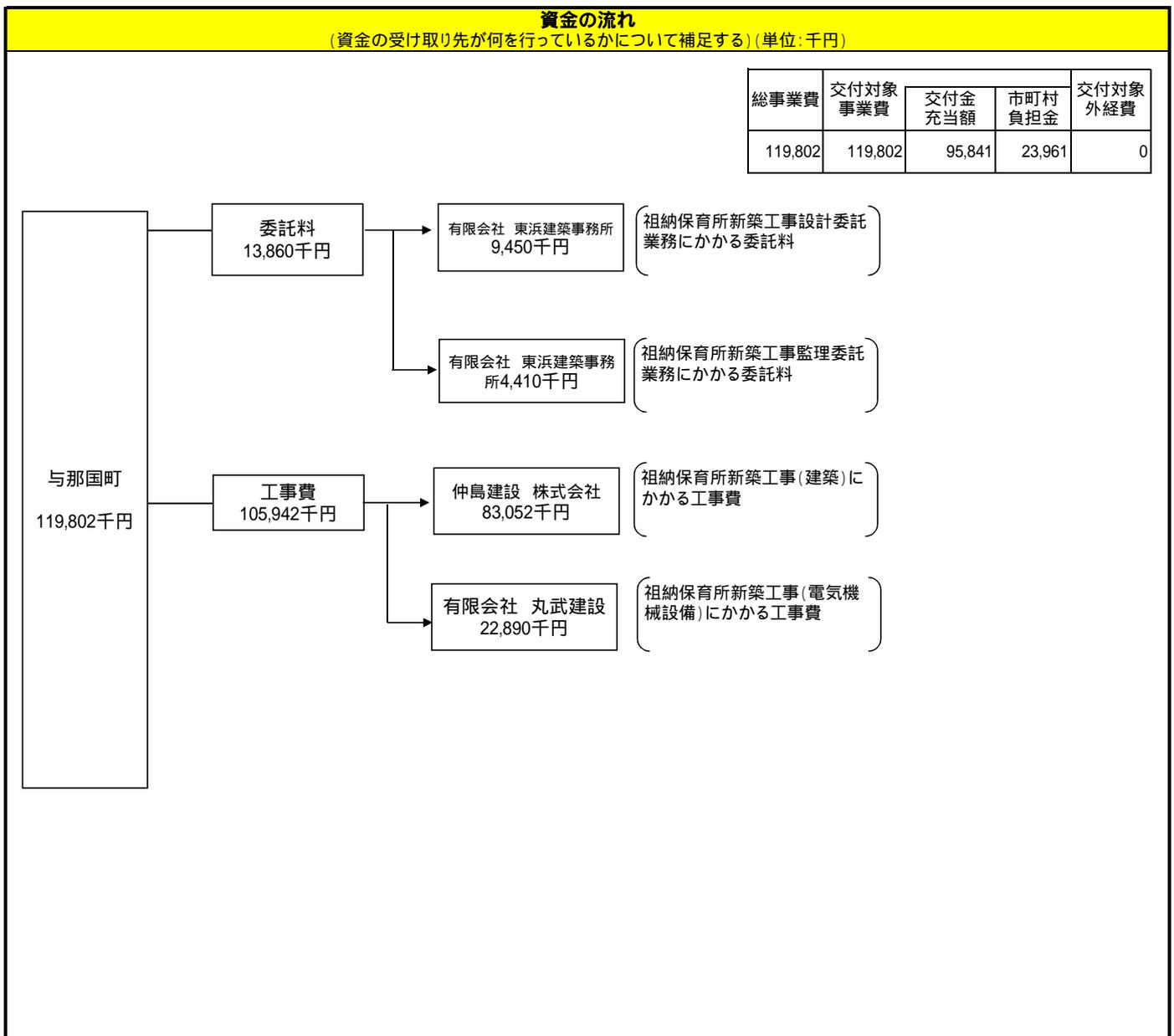
実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）

		24年度	24年度（繰越）	25年度	26年度	27年度
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	(a) 当初予算額	120,000	-			
	(b) 予算現額	120,000	-			
	(c) 増減額 (b-a)	0	-			
	(d) 繰越額	-	120,000			
	A. 計 (b+d)	120,000	120,000			
	B. 執行済額	0	119,802			
	うち交付金充当額	0	95,841			
	次年度繰越額	120,000	0			
	執行率（％）(B/A)	0.0%	99.8%			
	予算の状況の説明	・計画していた、事業内容をすべて実行した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。 ・繰越理由：用地取得交渉にあたり、事前に内諾を得ていた価格で折り合いがつかず、その対応に不測の日数を要したため。				

活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		祖納保育所整備の整備	目標 (実施設計及び建設工事)	()	()	()
	実績	実施設計及び建設工事				
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	祖納保育所の実施設計、外交設計、建築設計、設備設計、電気設計を実施し、鉄筋コンクリート造平屋建ての建物を整備したことに伴い、安心して子育てができる環境づくりを積極的に進めた。					

成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）	基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
		祖納保育所の建設	()	(1棟)	()	()
		実績	1棟			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()
		実績				
進捗状況説明	鉄筋コンクリート造平屋建ての祖納保育所を建設し平成26年度より供用開始した。これによって、働きながら子育てができる環境が充実し、子育て世代の定住促進が期待できる。					

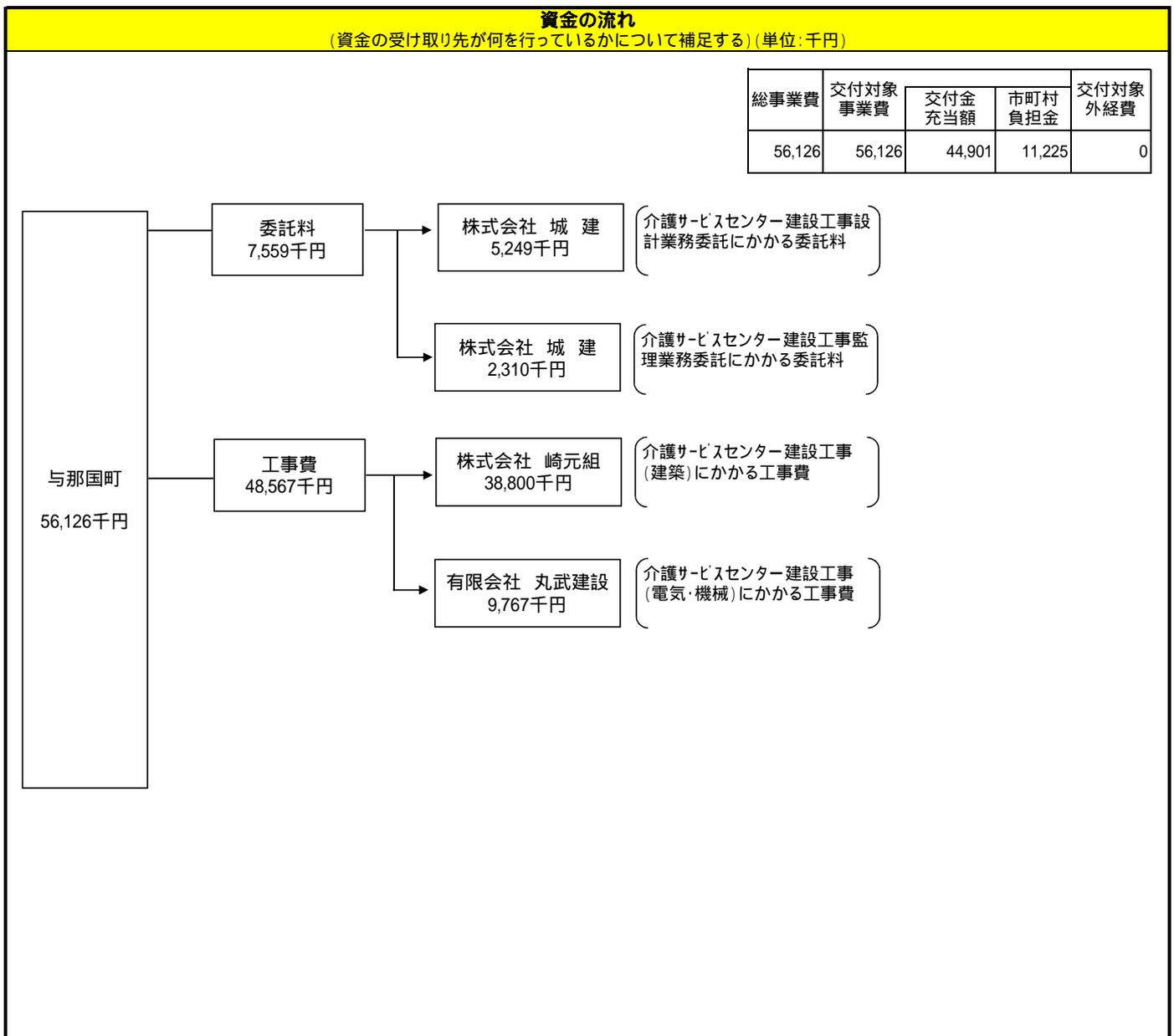
推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を進めるうえで、保護者及び保育士の意見を取り入れた計画を行ったが、与那国町景観条例に見合った計画の見直しが生じ、屋根を瓦葺きへ変更するため設計変更が必要となった。 ・用地取得交渉にあたり内諾をえていたが、取得単価で折合がつかず、その対応に不測の日数が必要となった。 	<p>保護者及び保育士の意見を取り入れ計画を進めたことで、安心、安全に働きながら子育てできる環境の保育所が整備され、子育て世代の定住促進に繋げていく。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>祖納保育所の供用開始に伴い、これまで以上に子育て支援の充実を図り、保護者が安心して働ける環境を維持する共に、適切な施設の管理運営に努めていく。</p>		



資金の用途の流れ、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>請負業者及び委託事業者は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を助案した上で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		与那国町					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5 -	介護支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	高齢者が住み慣れた地域で生き生き暮らせる環境づくり - 4 - (1)		
事業内容	本町唯一の居宅介護支援事業所が平成24年3月末で閉鎖し、利用者に十分な介護サービスの提供が行えない状況にある。今後安定したサービスを提供するため居宅介護支援センターの整備を実施した。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	60,637	-			
		(b)予算現額	60,637	-			
		(c)増減額(b-a)	0	-			
		(d)繰越額	-	56,126			
	A.計(b+d)		60,637	56,126			
	B.執行済額		4,511	56,126			
	うち交付金充当額		3,608	44,901			
	次年度繰越額		56,126	0			
	執行率(%) (B/A)		7.4%	100.0%			
予算の状況の説明		・計画していた、事業内容をすべて実行した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。 ・繰越理由:用地取得交渉にあたり、事前に内諾を得ていた価格で折り合いがつかず、隣接地との境界確定に不測の日数を要したため。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	居宅介護支援センターの整備	目標	(実施設計及び建設工事)	()	()	()	
		実績	実施設計及び建設工事				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	介護支援センターの実施設計、外構設計、建築設計、設備設計、電気設計を実施し、鉄筋コンクリート造平屋建ての建物を整備したことにより、安心・安全な介護サービスを提供する環境づくりが整った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	居宅介護支援センターの整備	目標	()	(1棟)	()	()	()
		実績		1棟			
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	鉄筋コンクリート造平屋建ての介護支援センターを建設し平成26年度より供用開始した。これによって、高齢者・障害者が生活する上での不安の軽減及び介護に係る家族の負担軽減が期待できる。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	本町唯一の居宅介護支援事業が平成24年度3月末で閉鎖したことで、早急に介護支援センターの整備が必要であったが、用地取得交渉に不測の日数を要し、利用者に介護サービスの提供が遅れることとなった。	介護支援センターが整備されたことにより、利用者に十分な介護支援の提供を行う共に、社会福祉の体制の強化を図り、高齢者・障がい者が生活する上での不安の軽減及び介護に係る家族の負担軽減の向上に繋げていく。
	今後の取り組み方針	
<p>今後の取り組みとして、供用開始に伴い平成26年度より社会福祉協議会へ指定管理を行い、利用者に十分な介護サービスの提供が行える体制を整え、高齢者・障害者が生活する上での不安の軽減及び介護に係る家族の負担軽減を図っていく。</p>		



資金の 用途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>請負業者及び委託事業者は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を助案した上で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	与那国町						
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-	診療所運営支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施(予定)年度	H24~H28		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 -4-(1)	
事業内容	本町における唯一の医療施設である「与那国町診療所」の指定管理者(地域医療振興会)に対して運営経費の補助を行うとともに、老朽化・旧式化した施設を更新・拡充し、本町の医療体制を維持・充実を図った。						
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他()		
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	38,219	-			
		(b)予算現額	38,219	-			
		(c)増減額(b-a)	0	-			
		(d)繰越額	-	37,222			
	A.計(b+d)		38,219	37,222			
	B.執行済額		997	37,222			
	うち交付金充当額		798	29,778			
	次年度繰越額		37,222	0			
	執行率(%) (B/A)		2.6%	100.0%			
予算の状況の説明		・計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。 ・繰越理由:機器選定にあたり、医師が要望する仕様を整えるため不測の日数を要したため。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	X線断層撮影装置の導入	目標	(X線断層装置導入)	()	()	()	
		実績	X線断層装置導入				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	与那国町診療所改修及びX線断層撮影装置導入のため実施設計、建築設計、設備設計を実施し、撮影室改修及びX線断層撮影装置を整備し、医療体制を提供する環境づくりが整った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	X線断層撮影装置の導入	目標	()	(1基)	()	()	()
		実績		1基			
	〔参考指標〕		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	X線断層撮影装置を導入したことにより、これまでの診療では判断が難しかった病気(ガン等)の早期発見へ繋がられると共に、住民、観光客等が安心して暮らすことが出来る医療体制の充実が見込まれる。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>・事業実施にあたり、現在の診療体制や人口に考慮した機器選定の選定が必要である。また、医師が要望する仕様を整えるため不測に日数を要するなど事業完了に遅れが生じた。</p>	<p>・X線断層撮影装置を導入したことで、本町の医療体制の維持、充実が図られ、住民が安心して暮らすことが出来る体制を整えていく。</p>
今後の取り組み方針		
<p>今後の取り組みとしてX線断層撮影装置を導入することで、これまで判断が難しかった病気(ガン等)の早期発見に繋げて行く。また、既存の医療機器の更新をおこない医療の充実を図り、安心、安全に暮らすことが出来る島を整える。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	37,222	37,222	29,778	7,444	0
与那国町 37,222千円	委託料 997千円	株式会社 ワールド設計 997千円	〔与那国町診療所X線CT室改修委託業務にかかる委託〕		
	工事費 16,800千円	仲島建設 株式会社 16,800千円	〔与那国町診療所X線CT室改修工事にかかる工事〕		
	備品購入費 19,425千円	アイティアイ株式会社 19,425千円	〔全身用X線CT断層装置購入業務にかかる備品購入〕		

資金の流 れ、費 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>請負業者、委託事業者及び備品購入は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	×	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		与那国町					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8 -	防災安全基盤整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくり防災体制の強化 - 10 - (2)		
事業内容	地理的な不安要因がある本町の災害発生時における安全・安心の確保を図るため、住民・観光客等の被災者の長期避難生活を想定した備蓄庫を整備した。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	13,036	-			
		(b)予算現額	13,036	-			
		(c)増減額(b-a)	0	-			
		(d)繰越額	-	13,036			
	A.計(b+d)		13,036	13,036			
	B.執行済額		0	8,905			
	うち交付金充当額		0	7,124			
	次年度繰越額		13,036	0			
	執行率(%) (B/A)		0.0%	68.3%			
予算の状況の説明		・不要が4,131千円発生しているが、入札残によるものであり、計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。 ・繰越理由:用地取得にあたり、事前に内諾を得ていた価格で折り合いがつかず、その対応に不測の日数を要したため。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	災害備蓄庫の建設	目標	(備蓄庫の建設)	()	()	()	
		実績	備蓄庫の建設				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	大規模災害発生時には、避難生活も長期間に亘ることが想定されるため、災害発生時における安全・安心の確保を図るため備蓄倉庫(コンテナ)2基を設置を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	災害備蓄庫の建設	目標	()	(2基)	()	()	()
		実績		2基			
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	災害備蓄庫の実施設計、外構設計、建築設計、を実施し、備蓄倉庫(コンテナ)での2基を整備したことにより、災害発生時における安全・安心の確保が見込まれる。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度で計画を進めている与那国町地域防災計画(津波編)策定計画を基に、災害時における必要な備蓄日数、非常食料、日用雑貨、備品及び救助備品等の検討が必要である。 用地取得交渉にあたり内諾をえていたが、取得単価で折合がつかず、その対応に不測の日数が必要となった。 	<p>与那国町地域防災計画(津波編)策定計画を基に、災害発生時における住民数、観光客集等を考慮した備蓄日数、非常食料、日用雑貨、備品及び救助備品等の整備を図り、島の全ての人々の安心・安全が確保された防災体制の向上を繋げていく。</p>
今後の取り組み方針		
<p>今後の取り組みとして、整備されたの備蓄倉庫(コンテナ)へ災害時に必要な非常食料、日用雑貨、備品及び救助装備品等の整備を行っていく。</p>		

資金の流れ					
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	8,905	8,905	7,124	1,781	0
<pre> graph LR A[与那国町 8,905千円] --> B[工事費 8,905千円] B --> C[麻生商事 株式会社 8,905千円] subgraph D [] C end style D stroke-dasharray: 5 5 </pre>					

資金の流 れ、費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>請負業者は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を助案した上で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		